

ハード/ソフトの両面アプローチで効果を実感！

フードディフェンス診断



人にアプローチした食品防御体制の実現を

ハード面(設備やルール等)への対応だけでは、悪意を持った者からの攻撃を防ぐには不十分

農薬混入事件やバイオテロなどをきっかけに、食品業界ではフードディフェンス(食品防御)の考え方が認知され、普及しました。

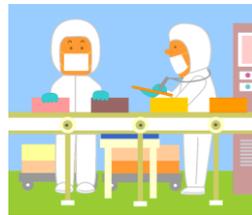
このような不祥事がひとたび起これば、多額の損失に加え、社会的な信用失墜につながり、経営へのダメージは計り知れません。

多くの組織では監視カメラや鍵の管理、様々な管理手順といった**“ハード面(設備やルール)”への対応**が主流ですが、悪意を持った者からの故意の攻撃を防ぐには十分とは言えません。



行為を思い留まらせるには、ソフト面(コミュニケーション等)への対応が必要

最終的に行動するのは人であり、行為を思い留まらせる、一歩立ち止まる心や思考を持つ人材を育てること、つまり**“ソフト面(コミュニケーション)”への対応**が、これからの食品企業には求められます。この両面を実現し、組織のフードディフェンスへの取組みは完成できると考えております。



弊社のフードディフェンス診断では、この**“ハード面”**及び**“ソフト面”**の両面を診断することにより、真の食品防御体制の実現を目指すことを目的としております。

弊社診断の特徴

人も組織も、その構造は心・技・体で表現されます。

この3つの要素が機能することで期待する効果を享受することが出来ますが、どこかが欠落すると十分なパフォーマンスを発揮しなくなります。

食品防御についても全く同じことが言えます。ただ、多くの組織では、技・体の取り組みに力を入れているものの、心に対するアプローチには具体的なものが殆どなく、必ずしも十分ではない状況を見受けます。

弊社では、心への対応を**“フードディフェスマインド(FDM)”**と定義し、この3つの要素すべてを診断することで、組織の課題を健在化させ、応じた対策を進められるようなノウハウを開発しました。

3つの
バランスが
大切



支援体制



坂田和則 (さかたかずのり)
【ソフト担当】
改善ファシリテーター

国内外において、企業内外教育、自己啓発、人材活性化、コストダウンの改善サポートを数多

く手がけている。「その気にさせるきっかけ」を研究しながら改善ファシリテーションの概念を構築・提唱しており、特にコミュニケーション、モチベーション、プレゼンテーション、リーダーシップの分野に強く、働く人の喜びを組織の成果につなげるよう活動中。



酒徳泰行 (さかとくやすゆき)
【ハード担当】
コンサルタント

元・食品添加物のメーカーに在籍していた強みを活かし、大手食品グループや中小食品メーカーを中心に、食品業界に関係する企業への品

質管理・食品安全の支援を実績を多数有す。特にセミナーのリクエストが多く、通常の規格解説セミナーから200社が集まる食品安全セミナーまで大小さまざまな行なっている。最近では改善ファシリテーションのセミナーも実施、ISOと改善の両輪を支援する。



川畑省悟 (かわはたせいご)
【サポート】
コンサルタント

食品安全マネジメントシステムに関するコンサルティングの他、品質マネジメントシステムや環境マネジメントシステムなど各種マネジメント

システムの構築・統合の支援実績を多数有す。若さを武器に工場を中心とした多くの現場へ訪問しており、最近では改善ファシリテーションの指導も行なっている。

診断の詳細は裏面をご覧ください

■お問合せ先



株式会社ナレッジリーン

株式会社プロレド・パートナーズ
(東証プライム上場 証券コード: 7034) グループ

〒105-0011 東京都港区芝公園1-1-1 住友不動産御成門タワー 7F

TEL:03-6450-1877 FAX:03-6800-5556

担当: 丹羽 ✉ kaizen@kmri.co.jp <https://kmri.co.jp/>

診断の流れ

STEP 01

ソフト面の訪問前アンケート調査



■ 訪問前のアンケート調査

工場の常時従事者を対象に、アンケート調査を実施します。

対象：①管理職、正社員 ②パート・アルバイト社員
※①のみで限定して実施することもできます

- ・ 質問項目に対して5段階での選択回答
- ・ 一部、記述式の回答を採用
- ・ 無記名ですが、その後の分析に必要なため所属名は記載

STEP 02

ソフト面の訪問ヒアリング



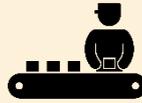
■ 訪問時のヒアリング

事前アンケート結果を踏まえ、さらに詳細な情報について対象工場にてヒアリングを実施します。

対象：管理職、従業員、パート・アルバイト社員
※対象範囲は相談のうえ決定。管理職はマストで実施します。
方法：サンプリング方式（当日、不特定で実施）

STEP 03

ハード面の訪問ヒアリング



■ 訪問による現場確認

対象工場を訪問し、現場確認、ヒアリングにより調査します。
（項目：組織マネジメント、人的要素＜従業員・部外者＞、施設管理、入出荷などの管理）

参照指針：「食品防御対策ガイドライン」+ 貴社のポリシーや弊社の知見を踏まえ追加項目を相談・検討
方法：サンプリング方式
注記：工場の食品防御に関する資料の事前確認

STEP 04

診断結果の報告



診断結果は後日、報告書として提出いたします。

■ 報告書の構成

- ①ソフト面の診断結果
- ②ハード面の診断結果
- ③ ①②の結果、検出された課題に対する対策案



【参考】 診断後の支援ご紹介

■ 定期的な評価支援

評価基準点を設定し、その点数をクリア出来ているか、基準を維持できているかを**毎年評価**することで、一定レベルのパフォーマンスがあることを実証する。
（※C協会 会員約80工場）

■ パフォーマンス向上のための支援

評価結果を基に、**コンサルティングや研修を実施**することで、弱点を強化する。支援後に改めて評価することで、パフォーマンスがどの程度向上したかが把握できる。（※グループ関連22社）

おもなコンサルティング内容

- ・ 対応の優先順位決めアドバイス
- ・ フードディフェンスに関わる文書や規定の構築／運用改善支援
- ・ 食品安全マネジメントとの統合運用支援
- ・ 研修実施＋実施後のフォロー（パフォーマンス確認）

豊富なセミナーコンテンツをご用意

トップマネジメント：

経営者・幹部向け／管理職向け フードディフェンスセミナー（フードディフェンスマインド編）

コミュニケーション：

コーチング基礎セミナー・LABプロフィール®セミナー

ストレスマネジメント：

ラインケア（管理職が部下へストレスケア）
セルフケア（メンバー自身のストレスケア）

協力協調：コーチング基礎セミナー

教育訓練意識付け：フードディフェンスセミナー

予防：フードディフェンスと犯罪心理

心理的安全性：

対話とリーダーシップ（組織開発系セミナー）

ダイバーシティ：ダイバーシティセミナー

人事：

iWAMテストを使ったフードディフェンス意識調査【幹部・管理職向け】【社員向け】

■お問合せ先

株式会社ナレッジリーン

株式会社プロレド・パートナーズ
（東証プライム上場 証券コード：7034）グループ



〒105-0011 東京都港区芝公園1-1-1 住友不動産御成門タワー 7F
TEL:03-6450-1877 FAX:03-6800-5556
担当：丹羽 ✉ kaizen@kmri.co.jp <https://kmri.co.jp/>